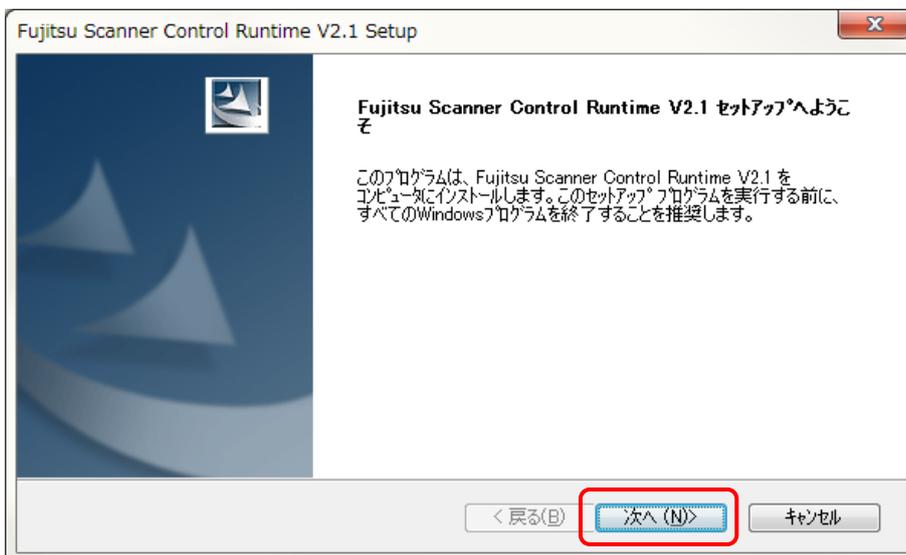


◆ 電子文書管理システム設定手順

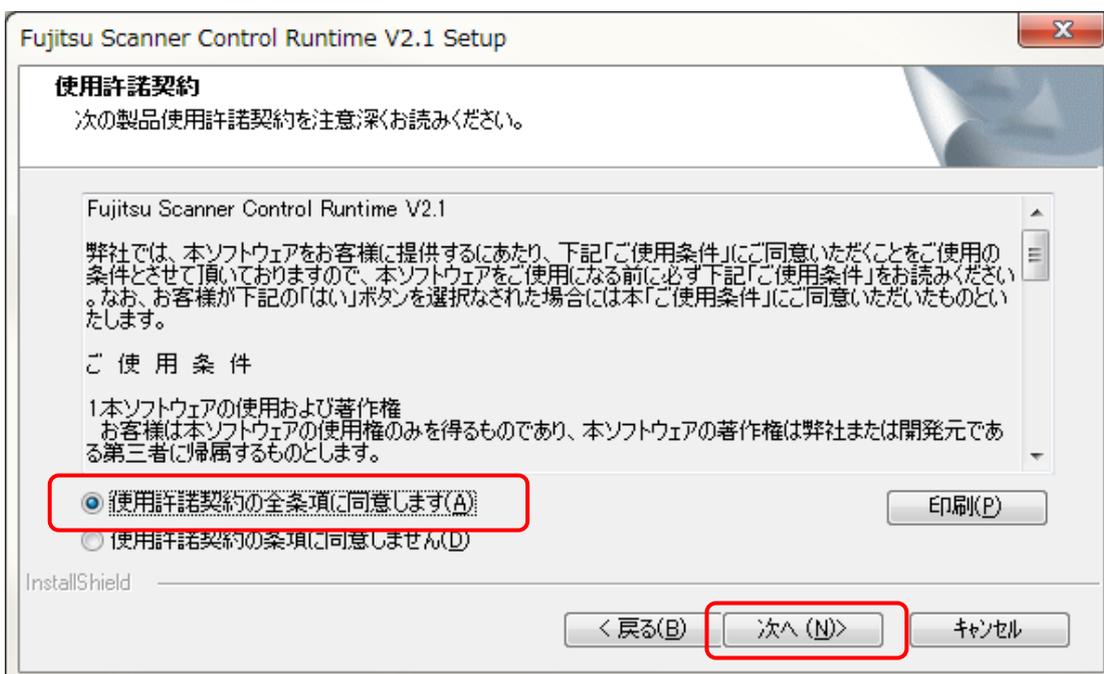
電子文書管理システムは自端末のみで使用するスタンドアロン方式と、複数の端末で使用するサーバークライアント方式を採用しています。無償版はスタンドアロンでの使用のみとなりますのでご了承下さい。

● 設定手順

1. ダウンロードした ebinder.zip を解凍します。
2. 解凍されたフォルダ内にある、電子文書管理システムフォルダと MySQL フォルダの2つのフォルダを任意の場所に配置します。(C ドライブ直下に配置する事を推奨します。)
3. ファイルをサムネイル表示する為に Fujitsu Scanner Control Runtime をインストールします。FiScnRun フォルダにある FiScnRUN.exe を管理者権限を持つユーザーにて実行します。実行すると下記のダイアログが表示されますので、次へを選択します。



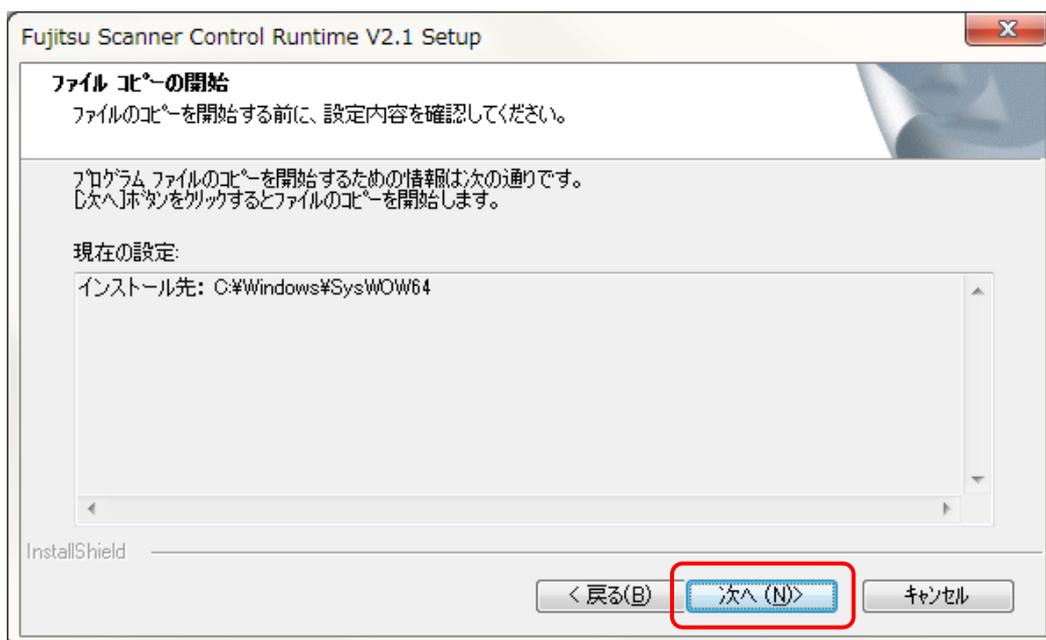
4. 使用許諾契約書を読み、使用許諾契約の全条項に同意しますを選択して次へを選択します。



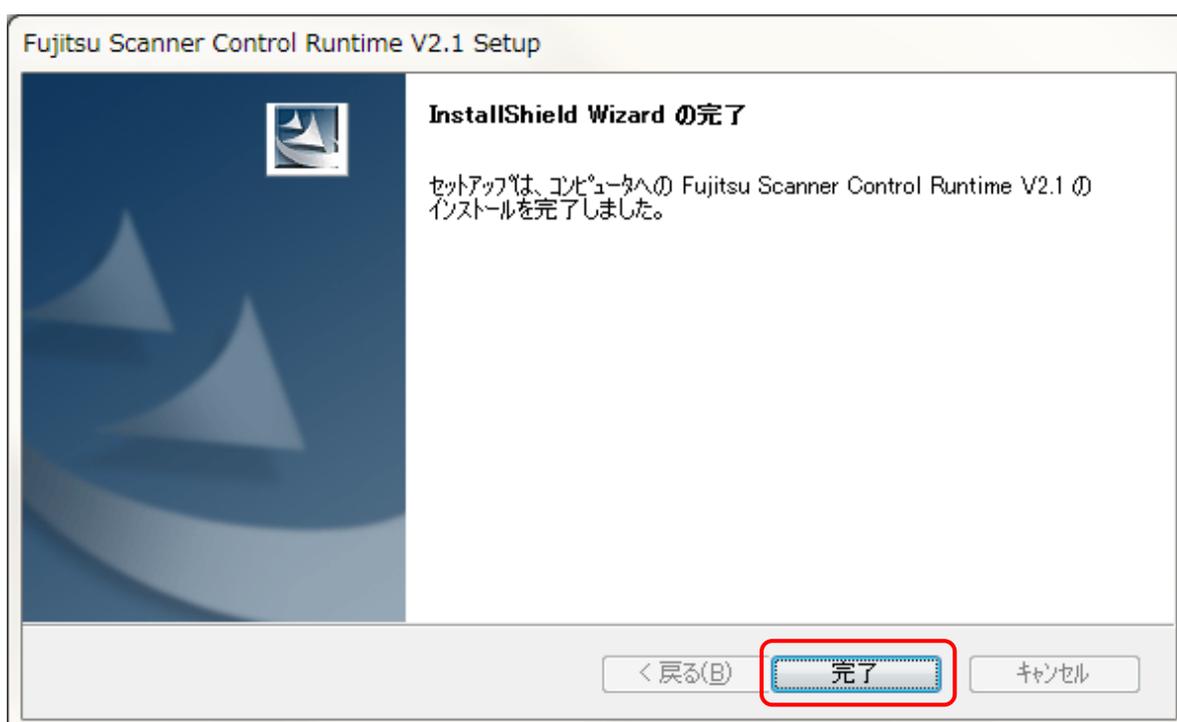
5. OK を選択します。



6. 次へを選択するとインストールが開始されます。



7. 完了を選択し、インストールを完了します。



8. 電子文書管理システムフォルダにある ChubuIshikai.Ebinder.exe.config をテキストエディタで開いて適宜、項目の太字部分を修正してください。

- ・ローカル MySQL パス

```
<add key="LocalMySQLDir" value="C:¥MySQL" />
```

手順 2 にて MySQL フォルダを配置したパスを指定します。パスには MySQL までを指定してください。C ドライブ直下に配置した場合は変更する必要はありません。

例)

```
<add key="LocalMySQLDir" value="C:¥Users¥Public¥Documents¥MySQL" />
```

- ・ファイルを保存するフォルダ

```
<add key="FileRootDir" value="C:¥ebinder" />
```

電子文書管理システムで管理するファイルの実際の格納場所を指定します。システム上で取り込んだファイルはここで指定するパスに保存されていきます。フォルダ名は ebinder である必要はありません。

アクセス可能な場所を指定するようにしてください。また指定フォルダに更新権限を付与してください。

例)

```
<add key="FileRootDir" value=" C:¥Users¥Public¥Documents¥保存" />
```

- ・ORCA 連携

```
<add key="JOINORCA" value="true" />
```

日医標準レセプトソフト(ORCA)の受診者情報を表示する場合には true を、連携が不要な場合は false と設定してください。

- ・サムネイル画像幅

```
<add key="ThumbnailWidth" value="220" />
```

- ・サムネイル画像高さ

```
<add key="ThumbnailHeight" value="220" />
```

サムネイルの画像の大きさを指定します。共に 0 から 256 まで指定できます。

256 以上の値を設定しても 256 のサイズとなります。

- ・患者情報取込ディレクトリ

```
<add key="ImportDir" value="C: ¥importdir" />
```

ORCA 連携で true を設定した場合はこの項目の設定は不要です。

患者情報をファイル取り込みする場合の患者情報ファイルの格納場所の設定を行います。

● KING JIM テプラ PRO SR3900P を利用したバーコード印刷の設定手順

1. KING JIM テプラ PRO SR3900P 付属の CD からプリンタドライバと PC ラベルシステム SPC9 3.6 をインストールします。

※インストール手順はプリンタ付属のマニュアルを確認してください。

2. 電子文書管理システムフォルダにある ChubuIshikai.Ebinder.exe.config をテキストエディタで開いて適宜、項目の太字部分を修正してください。

・テプラテンプレート格納ディレクトリ

```
<add key="TepraTemplateDirPath" value="C:¥Program Files (x86)¥KING JIM¥PC ラベルシステム SPC9 3.6¥Data¥TEMPLATE¥User" />
```

バーコード印刷の為に必要なテンプレートファイルを格納するディレクトリを指定します。

・テプラ印刷データファイル名

```
<add key="TepraCsvFileName" value="data.csv" />
```

バーコード印刷するデータのファイル名です。基本的に変更する必要はありません。

・テプラ印刷テンプレートファイル名-->

```
<add key="TepraTemplateFileName" value="barcode.tpc" />
```

バーコード印刷する為のテンプレートファイル名です。基本的に変更する必要はありません。

3. 電子文書管理システムフォルダにある TepraPrint.exe.config をテキストエディタで開いて適宜、項目の太字部分を修正してください。

・実行ファイルパス

```
<add key="SpcExeFilePath" value="C:¥Program Files (x86)¥KING JIM¥PC ラベルシステム SPC9 3.6¥SPC9V36.EXE"/>
```

1. でインストールしたアプリケーションの実行ファイルのパスを指定します。

・テプラテンプレート格納ディレクトリ

```
<add key="TepraTemplateDirPath" value="C:¥Program Files (x86)¥KING JIM¥PC ラベルシステム SPC9 3.6¥Data¥TEMPLATE¥User" />
```

2. のテプラテンプレート格納ディレクトリと同じパスを設定してください。

・テプラ印刷データファイル名

```
<add key="CsvFileName" value="data.csv"/>
```

2. のテプラ印刷データファイル名と同じ名前を設定してください。

4. 電子文書管理システムフォルダにある、テンプレートファイル(`barcode.tpc`)を 2.と 3.のテプラテンプレート格納ディレクトリで指定したパスにコピーします。2.でテプラ印刷テンプレートファイル名を変更している場合はテンプレートファイルをその名前に変更してください。

※テンプレートファイルはバーコードの大きさを設定したファイルです。1.でインストールした PC ラベルシステム SPC9 3.6 で編集する事ができるので、バーコードの読み取り制度が悪い場合は大きくして読み取りを試してください。